

カリキュラム

機構施設名：千葉職業能力開発促進センター
 実施機関名：株式会社日本コンサルタントグループ

B. 組織マネジメント	組織力強化	058現場社員のための組織行動力向上
-------------	-------	--------------------

コースのねらい	企業の仕組みや、業界の背景について理解を深め、一般社員のうちから経営者の視点を理解し、上司の補佐や後輩の育成を行い、生産性向上のためのビジネス感覚を養うことにより、自ら主体的に社内の問題発見・業務改善を現場から発信するために必要な知識、技能を習得する。
---------	--

講義内容	「基本項目」	「主な内容」	訓練時間 (H)
講義内容	1 企業組織と生産活動	(1) 主体性が求められる背景(現場環境の変化と期待) ※本項目は、2『状況変化に対応する現場力』の実施後に取り扱う 企業組織を取り巻く環境変化(人材・価値観の多様化、IT化等)により、現場では『言われたことをこなす』だけでなく、状況を見て判断し、関係者と連携しながら進める場面が増えている。こうした変化を踏まえ、受講者自身に求められる役割を整理する。あわせて、変化に対応するために必要な学びの方向性(課題発見、改善の進め方、巻き込みのコミュニケーション)を確認し、後半の実践ワークにつなげる。	0.5
	2 状況変化に対応する現場力	(1) 組織で活かせる自身の強み【演習あり】 アイスブレイクと自己紹介を兼ね、カードツール演習を通じて、業務で活かせる自身の強み(行動特性)を整理する。あわせて、強みが発揮された場面を振り返り、どのような行動が周囲や成果に影響していたかを言語化する。グループ対話を通じて強みの理解を深め、職場での組織貢献や改善提案につながる『自分の持ち味』として明確にする。 【演習】自己理解カード演習 (2) キャリアの棚卸と仕事観(価値観)の整理【演習あり】 個別ワークにより、これまでの仕事経験(必要に応じてライフ面を含む)を棚卸しし、影響を受けた出来事や大切にしてきた価値観、仕事への向き合い方を整理する。あわせて、自身の強みや魅力がどのような場面で発揮されてきたかを再確認し、組織内での業務遂行や人間関係づくりなどにどのように活かせるかを検討する。個人ワークの内容は可能な範囲で共有し、相互フィードバックにより気づきを深める。 【演習】キャリアの棚卸、価値観ワーク	2.5
	3 フォロワーシップと組織行動力	(1) 現場の課題改善ワーク①【演習あり】 組織の目的や業務の前提を踏まえ、自身のチームにおいて「理想の状態」を検討する。理想の状態は精神論ではなく、日々の業務の進め方や情報共有、役割分担、連携のあり方など、現場で実感できる形で言語化する。【演習】理想のチーム(ありたい状態)の言語化 (2) 現場の課題改善ワーク②【演習あり】 理想のチーム像を基準に、現在のチームの状態を整理する。理想と現状の差分(ギャップ)を可視化し、何がボトルネックになっているかを確認したうえで、優先して取り組む課題を明確にする。必要に応じて、他社事例・課題事例を参照し、改善の観点を広げる。 【演習】チームの現状確認と課題抽出 (3) 現場の課題改善ワーク③【演習あり】 抽出した課題に対し、現場社員として取り組める改善の進め方を検討する。課題を一度に解決しようとせず、今日から着手できる「小さな一歩」に分解し、一定期間(例:1か月)の行動計画として具体化する。また、改善は個人で完結させず、フォロワーシップの観点から上司・同僚との連携や働きかけの方法も確認する。 【演習】課題へのアプローチ設計(小さな一歩)／行動計画策定	3.0
	演習	組織運営や経営視点になじみが薄く、業務に受け身になりがちな一般社員に対し、カードツールを用いて自身の考えを言語化する演習を行います。仕事や組織への認識を可視化・共有することで、組織における自身の役割の自覚を促します。 ・自己理解カード演習 ・キャリアの棚卸、価値観ワーク ・理想のチーム(ありたい状態)の言語化 ・チームの現状確認と課題抽出 ・課題へのアプローチ設計(小さな一歩)／行動計画策定	3
合計時間			6.0